

7

堆肥を施す位置がたいせつ —根張りがこんなに変わる

良質堆肥を選び、施す量が決まったら、次は施し方がたいせつです。写真は、A全層施用、B溝底施用、C表層施用、D化学肥料だけの4つのプランターでコマツナを育てたものです。堆肥は生ごみ・牛糞・おがくずを混合して発酵させた堆肥を使いました。

AとBは土と堆肥の割合を8：2とし、Aは堆肥と肥料を土全体に混和、Bは堆肥をプランターの底に



A 堆肥を全層施用

根が上から底まで全体に分布しているが、新しい根と根の量は少なめ。収穫は6株で308g



B 堆肥を溝底施用

プランター底の堆肥のところに新しい白い根がたくさん出て活動している。収穫は6株で326gと2位

